

～読んでみない？こんな本～

日本昔話百選

稲田浩二・稲田和子編著 三省堂



この本は日本に伝わる昔話を全国の語り爺や語り婆から採取し、その地方の方言も残しつつ百話を選んだもので、1971年に出版されています。

昔話というものは口承によって伝えられてきたものですから、言葉は最小限まで削ぎ落とされているのはもちろんですが、その短い話しの中に、時に人の生き方やその地方の歴史等いろいろな含みをもやんわりと織り込まれ語られていたりもします。あらすじを追うだけでなく、深い情緒のあるお話しや知恵と工夫が詰まったお話しなどその内容はバラエティに富んでいます。11月に行った絵本のくらべ読みセミナーでは、昔話の違いを知るために“鶴女房”を取り上げたのですが、この本の鶴女房（岩手県）の言葉は美しく、聞くだけで情景が思い浮かぶような無駄のない語りや情緒あふれるお話しに聞き入ってしまう程でした。

小学校のおはなし会でも取り入れると、どの学年も聞いた後におもしろかったと言って図書館に借りに来てくれる子もいるのですが、残念なことにこの本はふりがながついていません。子ども達は昔話が好きですから、大人が読んで子ども達と共に楽しんでほしい1冊です。